

横須賀市立市民病院を受診された患者さんへ

当院は、下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。希望されない場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

1、研究課題名

前立腺癌の放射線治療開始前後の hydrogel spacer (SpaceOAR system) の変化に関する研究

2、当院の研究責任者（所属）

石橋 直也（日本大学医学部放射線医学系）

3、研究の対象

2022年4月1日～2025年3月31日の期間に当院で前立腺癌に対して放射線治療を開始した方で放射線治療開始前にハイドロゲル hydrogel spacer を留置された方

4、研究期間

2023年7月24日～2026年3月31日

5、研究の概要

近年、前立腺癌に対して放射線治療を行う直前に、前立腺と直腸の間に経会陰的に hydrogel spacer (SpaceOAR system:Augmenix,Waltham,MA) を留置することで、直腸への照射線量が低下すると報告されている。これにより放射線治療後の消化器毒性が軽減すると報告されている。このため2018年に本邦でも保険収載され hydrogel spacer を留置する施設が増加している。Hydrogel spacer の成分は polyethylene glycol で留置して3か月は spacer を保ちその後加水分解が開始され6～12か月で完全に吸収され腎臓経由で尿から排泄されると言われている。しかし実際に hydrogel spacer の volume を計測してみると放射線治療期間中に増大した報告と縮小した報告の両方がありまたどちらも少数症例の報告で volume の維持については不明な部分が多い。そしてどのような患者でどのように hydrogel spacer の volume が変化するか検討した報告は今までにない。今回我々は hydrogel spacer の volume を放射線治療中の magnetic resonance imaging で計測し腎機能など患者背景との関係を検討する。

6、検体、試料、データ等の保存・管理方法

採血データを電子カルテ内に保存

画像データおよび放射線治療データを横須賀市立市民病院の医療用画像管理システムにて保存また解析画像はパスワード等で制御されたコンピュータにて保存

7、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

横須賀市立市民病院

放射線技術科

住所：〒240-0195 神奈川県横須賀市長坂 1-3-2

電話：046-856-3136